特集

第60号
毎月1回　5日発行
発行所　室蘭市役所
編輯人　阿部敦男
印刷所　室蘭民報社

市政だより

室蘭

御奉迎

天皇皇后両陛下をお迎えするにあたり

室蘭市長　熊谷紘雄

天皇、皇后両陛下におかせられましては戦後、国民生活の実相をつぶさに御視察なさるため、広く都府県を御巡幸になられたのでありますが、本道御巡幸は、諸種の御事情もおありのためこんにちまでその実現をみるに至らなかつたように、もれうけたまわつておりますが幸いにして第九回国民体育大会にちなみまして第九回国民に一度、御来道になられましたが、今夏本道において開催されますに越えられ、親しく道民と接し本道の産業、経済、文化等を詳細にわたつて御視察なさいますのでさためし、御感慨の深きものが、おありのことと御推察申し上げる次第であります。

あと旬日をいでず、きたる八月九日には、本市の実情について、親しく御視察を賜ることになつております。

当日、両陛下におかせられましては、室蘭市奉迎場（栄高等学校）に御成りになられ、市民の心からなる奉迎をおうけなされてのち、室蘭港と富士製鉄室蘭製鉄所を、それぞれ、御視察なさることになつております。この際私達は、平和日本の誠実なる国民として、両陛下をお迎え申上げ、本道御巡幸がつつがなくおえられますよう御祈り申上げるものであります。

室蘭市議會議長　高野次郎

天皇陛下におかせられましては、大正十一年、摂政宮時代に御来道になられましたが、その後、昭和十一年の特別大演習に御来道なされて以来、実に十八年ぶりでありまして、このたびは皇后陛下とおそろいで津軽海峡の波を召艦比叡に御搭乗、九月二十六日朝、当港に本道御上陸の第一歩をしるされまして以来国民統合の象徴であり、日本の行幸であり、皇后陛下におかせられましてはお始めての御来道でもありますが、このところの天皇陛下におかせられましては、皇后陛下と御同列にて、来る八月九日本市に御臨幸、親しく市民の拝迎をおうけになりますことは、室蘭市民として千載一遇の機会として御同慶の至りであります。

天皇陛下におかせられましては、先に、昭和十一年、北海道で行われました陸軍特別大演習御親裁のため御渡道に相成りましたが、その際は御日本国の象徴であり、日本国民統合の象徴であります。

本市は、天皇陛下には非常に御縁故が深く、去る大正十一年に皇太子殿下の御当時に行啓せられました際には、御召艦に御一泊され、翌日は当時の室蘭中学校（今回市の奉迎場にあてられた栄高校）に御成りなされ、学校生徒、児童の成績品を台覧、同校々庭に設けられた御野立所において各種運動競技を台覧されまして、更に、八幡神社の境内、泉町明治天皇御駐ひつの御跡を訪ねられて、御召艦に御乗船、室蘭を最後として御退道に相成つたのであります。

今回の御来道は現下における道内の産業、経済、文化、社会福祉などの諸事情を広く御視察ののち、第九回国民体育大会に御臨席遊ばされまして御退道の御予定と拝承いたしておりますが、道民としてはまた、室蘭市民としてこの十八日間の長期にわたる北海道地方御巡幸の全御日程を両陛下共々御健康を損われるおんことなく、又天候にも御恵まれられて、御安泰な中に御気雄麗わしく御帰還遊ばされることを念願いたしてやまない次第であります。

一般奉迎者は

お召自動車はあ

日の丸ふ

1、行幸啓の当日は、なるべく各戸ごとに国旗をかかげるようにしましよう。

2、御召自動車の御巡路（御通過の時刻を、よく承知しておきましよう。

3、御召自動車は、自動車の御列編成の先頭から二両目で、天皇旗をお立てになつた「あすき色」の大型自動車です。

4、奉迎に際しては、なるべく日の丸の小旗をふつてえしましよう。

5、お迎えの服装は平さしつかえありません

6、雨天の場合の奉迎を用いてもさしつかえんが、そのためにならないように注意

7、写真を撮影するかえありませんが、列を乱し、列の前

両陛下御巡幸時刻表

天皇皇后両陛下には八月九日室蘭に御行幸啓になりますが御順路御通過時刻は下記の通りです

昭和29年8月9日

御巡幸地	御通過	地時刻	所要時間	摘要
御所	御着	御発			
		室蘭駅	14・46		御召列車
		本信号所	14・52		↓
		陣屋駅	14・56		
		本輪西駅			御召自動車
東室蘭駅15・02					↓
		富士鉄場前	15・07		
		球場前			

特別奉

特別奉迎者の範囲と心

両陛下をお迎え申しあげる奉迎場は、栄高等学校の校庭でありますが、その際に特別奉迎者として奉迎場の指定席に御案内申しあげる方の範囲は、左記の通りであります。特別奉迎者の調査のうち、特に高令者（明治十二年八月以前に生れた七十五才以上の人）の調査については、調査洩れのないように努めておりますが、該当される方であつて、八月五日頃までに通知の届かない方がありましたなら、来る八月正午迄に市役所受付まで申し出ていいたします。申し当者であることが認ら、直ちに市長からいたします。

なお、特別奉迎者室蘭駅の構内で奉迎りますので、その方の旨を申しそえて通間違われないよう御特別奉迎者の照会は○○番「四六三番」（市役所の

一般奉迎のしおり

お召自動車はあずき色

日の丸ふって歡迎しましょう

行幸啓の当日は、なるべく各戸ごとに国旗をかかげるようにしましょう。

御召自動車の御巡路や御通過時刻を、よく承知しておきましょう。

御召自動車は、自動車の御列編成の先頭から二両目で、天皇陛下がお立てになつた『あずき色』の大型自動車です。

奉迎に際しては、なるべく日の丸の小旗をふつて心からお迎えしましょう。

5、お迎えの服装は平常のままでさしつかえありません。

6、雨天の場合の奉迎には、雨具を用いてもさしつかえありませんが、そのためにお互に迷惑にならないように注意しましょう

7、写真を撮影することはさしつかえありませんが、そのために列を乱し、列の前に出たり、一般奉迎のじゃまにならないように心がけましょう。

8、両陛下の御身辺やお召自動車におしよせたり、お歩きの妨げになるような行動はつつしましょう。

9、自動車の御列は、かなり長くなりますが、御通過が終るまでは道路をふさがないようにしましょう。なお、御通過にならられる約十分前に、その御道筋の諸車の通行は制限されることになつています。

10、御道筋の道路、測溝などは、自ら進で清掃整頓し、当日は水を打つように心がけましょう

11、御――先や奉迎場など特――雑すぎるようなところでは、お互にゆずり合い、特に老人や子供をいたわりましょう。

奉迎場での御順序

▼市奉迎場＝栄高校グランド

▼奉迎者の範囲＝（イ）特別奉迎者（別に説明）（ロ）一般、団体券迎者

▼奉迎の順序＝（イ）奉迎場御着●十五時三十七分御着●五段雷花火打揚げ●御先導者　室蘭市長（ロ）奉迎台御臨席＝●台上に御立ちと同時に国鉄、富士鉄プラス

・バンドによつて国歌『君が代』一節前奏（が終りましたら）（ハ）国歌『君が代』斉唱（一回）（二）萬歳三唱＝萬歳主唱者、室蘭市議会議長

（ホ）御退場＝十五時四十五分

奉迎場の心得

（イ）奉迎者の整理について腕章を着けた係員が御世話することになつております。

（ロ）場内整理の関係で、特別奉迎者の方は、お送りしましたき章を胸につけられて十五時までに、一般奉迎者の方は十五時二十分までには定めてあります門より入場して下さい。（ハ）奉迎場の第一第二のそれぞれの入口で日の丸の小旗をお渡しします。（二万名分用意）（二）奉迎が終つてからも直ちに解散せずに係員の指図の通り行動して下さい。（ホ）奉迎場付近には仮設便所二カ所、救護所一カ所をそれぞれ用意してあります。

両陛下御巡幸時刻表

天皇陛下には八月九日室蘭に御行幸啓になりますが御順路御通過時刻は下記の通りです

昭和29年8月9日

御巡幸地	御着	御発	御通過箇所	御通過地時刻	摘要
			本室蘭駅	14・46	要時間
			信号所	14・52	御召列車↓
			陣屋駅	14・56	
東室蘭駅	15・02		本輪西駅		御召自動車↓
			富士鉄	15・07	
			球場前	15・12	御構内（駅構内）
			輪西駅前	15・18	御札幌管理者
			御崎駅前	15・20	御先導者（鉄道局）
			御前水	15・27	御鋼合前
			購買組合前	15・34	御駅前
			母恋駅前	15・36	御バス会
			道南バス会社前		御先導者（鉄道局管理部長）↓
			海道新聞社前		
			北室蘭支		
室蘭市奉迎場（栄高校グランド）	15・37	15・45			8分間
			常盤小学校前	15・47	正面御奉迎の室蘭才長
			丸井デパート前	15・48	校奉迎の室蘭市長
			拓銀前	15・49	高りの室蘭市議会議長
室蘭市営埠頭	15・52	16・12			栄ま者・者会自動車
			室蘭駅前	16・14	（門台先導者）↓
			丸井デパート前	16・17	市主市御召船
			道南バス会社前	16・21	御召↓
			母恋駅前	16・24	御先導者
			御前水	16・28	御保安者
			購買組合前	16・31	御明部
			御崎駅前	16・36	御風雨の取
			輪西駅前		御は埠頭発
富士鉄室蘭製鉄所	16・37	17・17			20分間
			富士鉄	17・28	御2分前
			球場前	17・32	御分予定
			室蘭駅前	17・34	御召内
			和歌山路切		御上長
			別所		御先
登別グランドホテル	18・20		東知前		御構
					奉社
					御説
					説明
					合時
					時鉄
					27発
					40分間

沿道の奉迎に制限地域

沿道の奉迎は片側にと列して奉迎する事が望ましいのですが路幅や付近の状況から特に両側にと列して奉迎し又は、と列奉迎を行わない地域をそれぞれ次の通り定めましたので御留意下さい。

一、両側にと列して奉迎する地域

▽千歳町（市役所前―小公園）

▽幸町―栄町（道新支社前―栄高校前）

▽大町（丸井デパート―小公園前）

▽海岸町（拓殖銀行前―道頭陸切）

二、奉迎と列を制限する地域。

▽御崎町入口カーブ三叉路地点

▽ラッパ森（発電所―大平亭店）

▽仏坂（茶津町入口小路点―入江町入口小路点）

▽栄高校校舎前（秋江工作所―社会保険出張所前曲り角）

▽北海道電力会社室蘭支店前―本教寺―中正眼鏡店前）

▽丸井デパート前坂（丸井デパート前―東洋カメラ店前）

なお、と列については、各地域ごとに、係員が直接に誘導いたします。

沿道の奉迎には

1・奉迎のための列は、遅くとも御通過の二十分前までには整列を終るようにして下さい。

2・と列は、道路の端（歩道のあるところは歩道上）に児童生徒が二列に並びその後に一般の奉迎者が並ぶようになりますから協力をお願いします。

3・特に沿道奉迎を申出ておりました団体は、児童生徒の場合と同様に取扱いますので、その場所の係員（腕章着用）に申し出て下さい。

4・高令者、又は身体に故障のある方には、座席を占められるようお互に気をつけてあげましょう。

盗難ご用心

火の元用心

5・お召自動車の御通過後直ちに解散すると混雑しますのでと列を崩す時についても、係員の指示に従つて、混乱しないようにして下さい。

6・常盤町、清水町等の方々は当日沿道が混み合いますので、できるだけ市奉迎場の方で奉迎なさるようお願いします。

特別奉迎者の範囲と心得

特別奉迎者の範囲

特別奉迎者の調査のうち、市奉迎者（明治十二年八月以前に七十五才以上の人）の調査については、調査洩れのないよう努めておりますが、該当されない方もあつて、八月五日か六日頃、特別奉迎者の照会は、電話「二〇〇番」（市役所の代表番号）か「四六三番」を呼んで「特別奉迎者班」といつて下さい。

（イ）特別奉迎者の範囲

一、国会議員、地元道議会議員、市長、市議会議員、教育委員、選挙管理委員、農業委員および海区漁業調整委員など、官公衙長、学校長、商工、農林、水産その他経済関係団体役員、文化、社会事業関係団体役員（日本赤十字社特別社員以上をも含む）市政功労者、民生委員、保護司、留守家族（一家一人）遺家族（一家一人）高令者（七十五才以上即ち明治十二年八月以前の出生者）消防団役員、

特別奉迎者として心得願いたいこと

奉迎の場所	奉迎の場所に到着すべき日時	服装	き章	出入口
室蘭市奉迎場（栄高等学校屋外運動場）	八月九日午後三時まで	見苦しくない平常の着衣でさしつかえありません	通知書に同封致します（栄高校の背面（舟見町浜の方に当日着衣の胸寄り）と、がけ下（栄部の見安い個所には町裁判所前通り）との二カ所にあります。	二カ所にあります。駅待合室入口
東室蘭駅構内（註）何れかに指定されます。	八月九日午後二時半まで	通知書に同封致しました定刻を過ぎると指定の席に御案内出来ない事を御了承願下さい		

街を綺麗に御奉迎

御発着は打揚げ花火で合図

陛下の御着、御通過に当り次の通り五段雷の花火を打上げして市民に御知らせします。

十五時二分　東室蘭御着

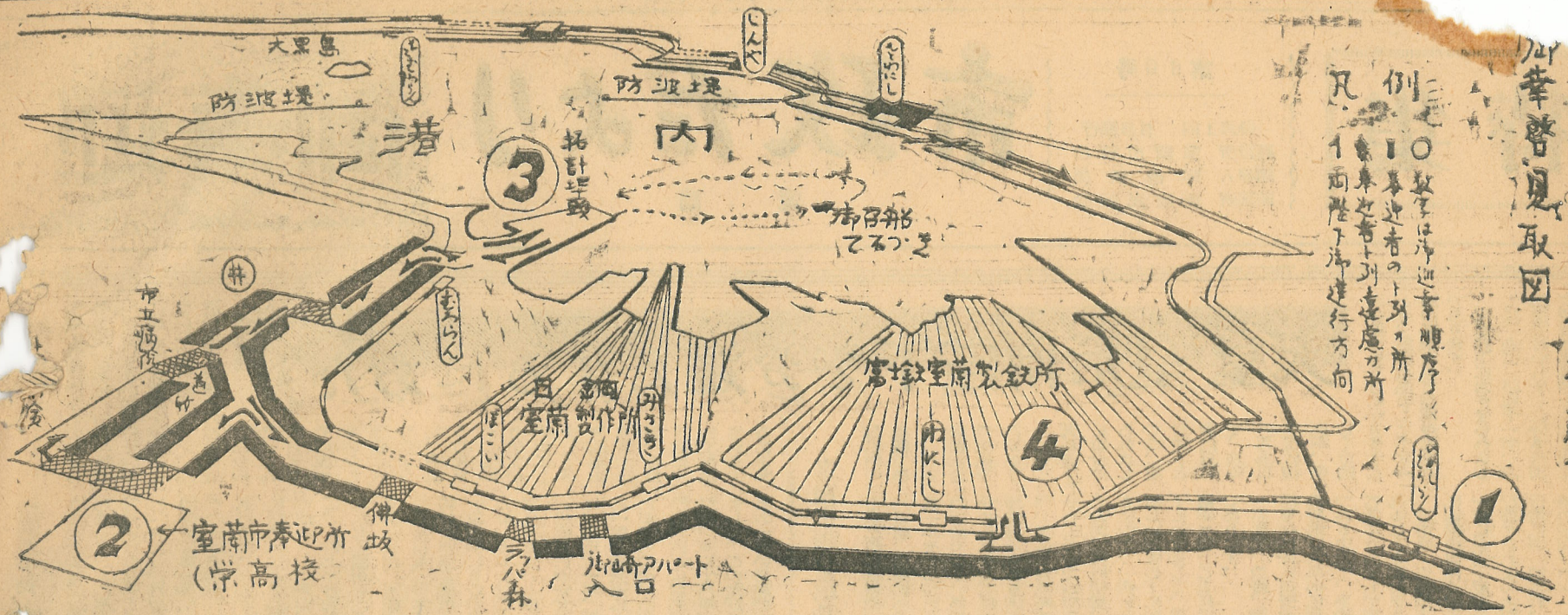
十五時三十七分　奉迎場御着（花火のほかに号砲一発）

十五時五十二分　埠頭より御召艇に御乗船

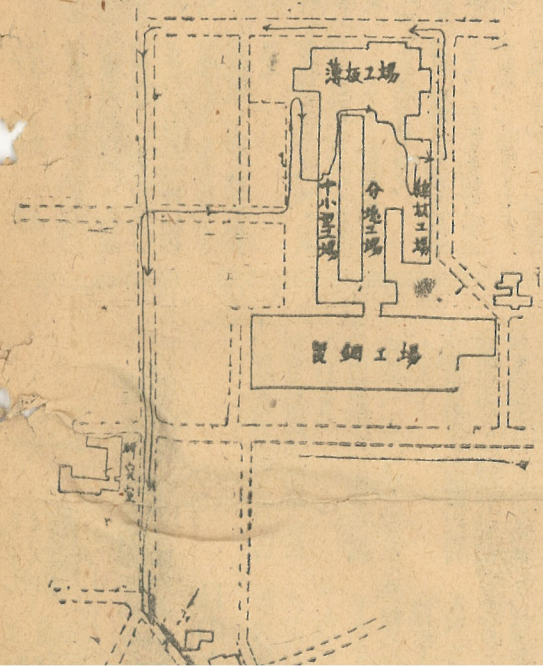
十七時十七分　富士鉄御発（御退園）

天皇皇后両陛下室蘭市御巡幸啓見取図

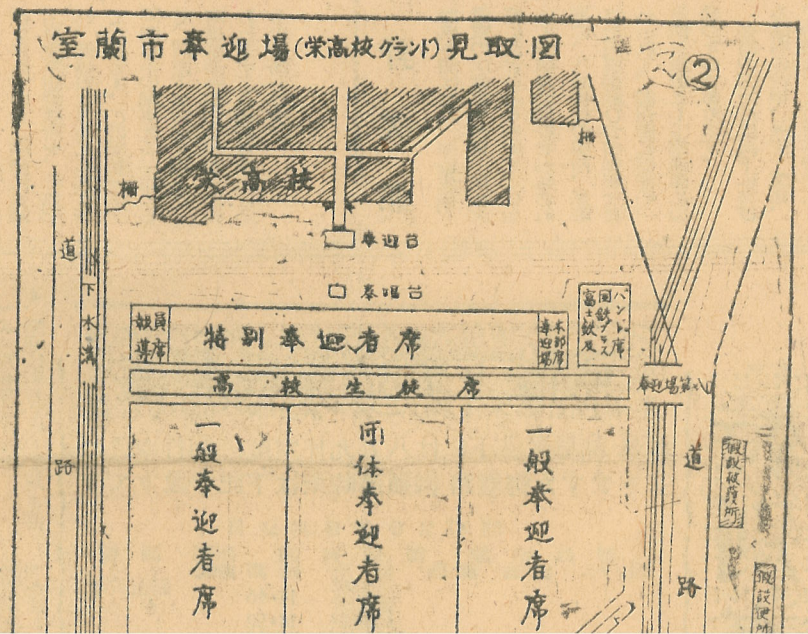
凡例
○数字は御巡幸順序
1 奉迎者の下列の所
奉迎者下列達慶方所
1 両陛下御通行方向



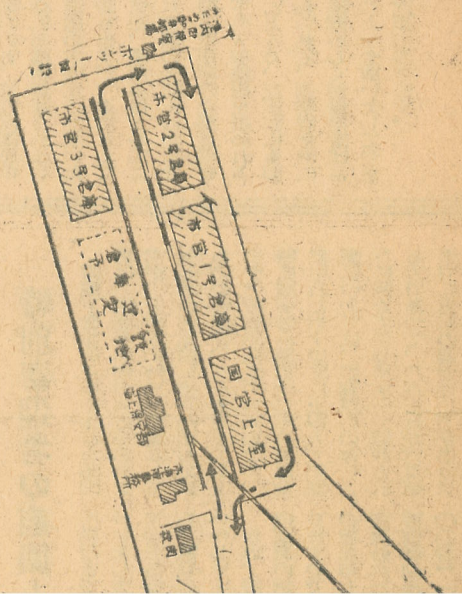
④ 富士製鉄構内御巡幸見取図

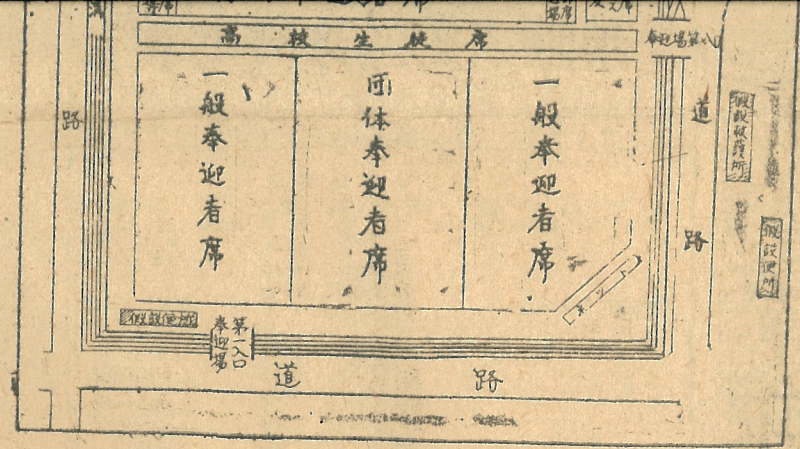


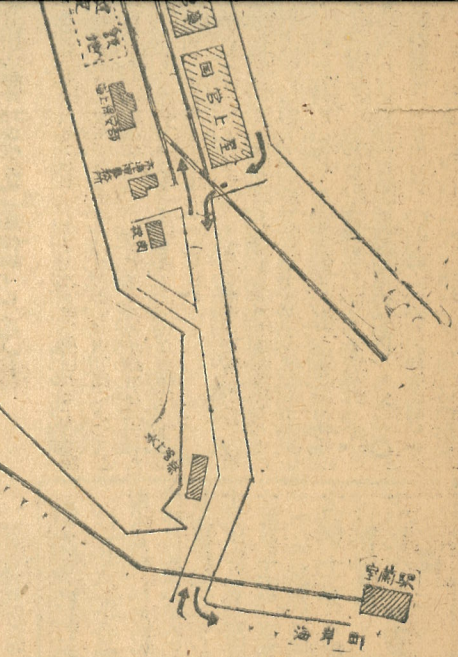
② 室蘭市奉迎場（栄高校グランド）見取図



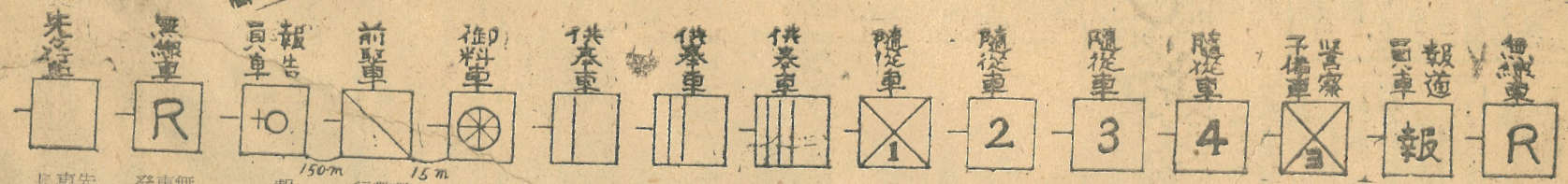
③ 室蘭市埠頭御巡幸見取図





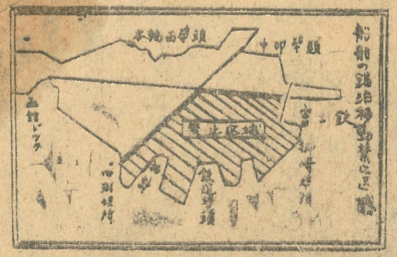


自動車御列編成圖



船舶の錨泊移動の禁止について

室蘭海上保安部においては行幸啓の当日室蘭港内船舶の錨泊移動禁止区域内船舶の移動は禁止する。



拓計埠頭

船舶の錨泊移動禁止区域

本輪西埠頭

西埠頭

東北区域

船舶の錨泊移動禁止区域

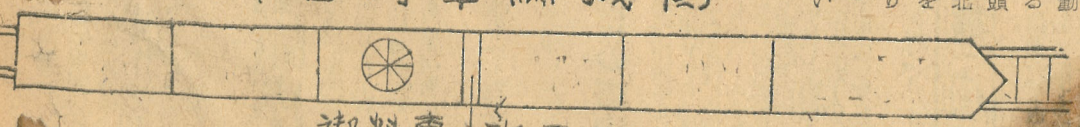
の禁止について次の通り定められましたので関係者は御留意下さい

『船舶の錨泊禁止区域は別図の通り設定する。実施期日は八月九日正午より午後六時までとし錨泊禁止区域内（東北区域、拓計埠頭、日鋼御崎各埠頭）けい留も同様とする』

船舶の移動は禁止する。

（税関―北荷事務所を結ぶ線より先端まで）の船舶けい留も同様とする。

御召列車編成図



御料車

御召列車

市内の清潔整頓

―健保と市民―

たまたま伝染病がこん延する季節であり乎すると、一層、衛生に留意し明るい笑顔で幸迎申しあげるとともに家屋周辺の清潔整頓についても特に力をいれて下さい。市では行幸啓御道筋の不潔な個所を衛生班で薬剤の撒布をいたしますが、夏季の衛生を守るために、左の事項をぜひ実施して下さい。

イ、家屋周辺の清潔整頓、障害物の除去

ロ、既設ごみ箱の修備とごみ箱のない方は必ず設置すること。

ハ、ごみ箱は市のじん芥撒作業に支障なく収集所の力にも迷惑にならない箇所に配置すること

二、下水の掃除を徹底的にする事

ホ、掃除の後には必ず防疫薬品（DDT等）のさん布を励行すること

救急関係

当日、急病の方は救護所を左記の所に仮設します。

▼本輪西救護所（市立室蘭病院本輪西診療所内）

▼東室蘭救護所（東室蘭駅前矢幕による設営）

▼輪西救護所（市立室蘭病院輪西診療所内）

▼御前水救護所（養医院内）

▼新富町救護所（日本製鋼所病院内）

▼大町救護所（水野谷医院内）

▼海岸町救護所（鳥影医院内）外に市立室蘭病院内に自動車による移動救護班を二ケ班を設けまして、必要に応じて出動できるように手配してあります。

路上の不用物は仕末するよう

路上の清潔整頓は常に注意して戴だいて居りますが、両陛下御巡幸の当日は道筋がかなり混雑する事なども考へられますので当日は、道路上塵芥、空箱、物置小屋、物干ザオ看板などを無然と道路を占用していますことは見苦しく特に道路を占用する場合は市の許可を受けた後でなければこのようなことは許されません、従つて正式の手続を得て許可を受けて下さい近く見苦しい場所、不当道路占用等について調査にまいりますが、御巡陛下のお出を機として自発的に御留意願つて美しい街路を作るよう協力して下さい。